

第65期 報告書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

Revolve



サンメッセ株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第65期の報告書をお届けするにあたり、株主の皆様の平素のご支援に対し、心からお礼申し上げます。

当社は平成22年3月31日をもって、第65期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに当事業年度の会社の現況につきまして、ご報告申し上げます。

平成22年6月



代表取締役会長

代表取締役社長

田中良孝 田中義一

CONTENTS

株主の皆様へ	1	業績の推移	7
会社の現況	2	株式の情報	9
Sun Messe News	3	会社の概況	10
財務の状況	5	株主メモ	10



事業の経過及びその成果

当事業年度におけるわが国経済は、アジア各国等の新興国の景気拡大が牽引し、輸出に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかながら回復傾向を見せております。しかしながら、企業収益については徐々に回復の兆しは見られるものの、設備投資の抑制、雇用・所得環境の悪化、内需の低迷やデフレによる二番底の懸念が高まる等、厳しい状況で推移いたしました。

印刷業界におきましては、依然として景気後退に伴う広告宣伝費の削減や、受注競争の激化による受注単価の下落に歯止めがかからず、経営環境は極めて厳しい状況が続きました。

当社は、このような事業環境の中で「業績向上の年」を会社の年度方針として、新規顧客開拓及び深耕におけるターゲットプラン（具体的目標を定めた営業展開）の達成、科学的分析によるムダ・ムラ・ムリの排除や機械設備の効率性アップへの取組み、また、このような厳しい状況下におきましても積極的な設備の合理化投資を図るなど、更なる原価低減と生産効率の向上に努めてまいりました。しかしながら、主力である一般商業印刷物の需要減退、過当競争による受注単価の下落等の影響により、前事業年度に引き続き非常に厳しい状況となりました。

これらの結果、売上の部門別では、一般商業印刷物は、特にカタログ・ダイレクトメールや折込広告等が前事業年度を大きく下回り、98億57百万円（前事業年度比88.0%）となりました。また、出版印刷物は17億47百万円（前事業年度比94.9%）、包装印刷物はパッケージ等が前事業年度を上回り16億17百万円（前事業年度比110.4%）となりました。

利益面におきましては、受注単価の下落の影響により売上総利益が低下したことなどの影響により、前事業年

度に引き続いて営業損失、経常損失、当期純損失という厳しい結果となりました。

以上の結果、売上高は132億22百万円と前事業年度に比べて8.9%の減収となり、利益面におきましては、営業損失2億16百万円、経常損失1億17百万円、当期純損失は1億15百万円となりました。

なお、期末配当金につきましては、平成22年5月21日開催の取締役会において、1株当たり3円と決議しております。平成21年12月7日に中間配当として1株当たり3円を実施しておりますので、当事業年度の配当金は1株当たり6円となります。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、世界経済は、新興国の需要の拡大等を背景に回復基調を続けると見られるものの、わが国経済は、設備投資の低迷、厳しい雇用・所得環境、デフレの影響等が懸念されるなど、大きな景気回復が期待できないものと予想されます。

このような環境下にあって当社は、「創業75周年『原点回帰の年』」を会社方針とし、創業時の精神に改めて立ち返り、お客様はもちろんのこと、取引業者、協力会社、更には社内の次工程もお客様と同様に第一であるという気持ちで、常に新しいことへの挑戦や改革に積極的に取り組み、一段とステップアップしたいと考えております。一層の市場の拡大、収益力の改善に努めると共に、徹底したコストの低減、販売管理費の更なる削減を図り、業績向上に努力いたします。

株主の皆様におかれましても、今後ともなお一層のご支援・ご指導を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



●B縦半裁オフセット輪転印刷機更新

平成21年10月、本社工場に小森コーポレーション社製のB縦半裁オフセット輪転印刷機「SYSTEM 35S」を導入いたしました。この機械は、約21年間稼動していたB縦半裁オフセット輪転印刷機「LITHOPIA BT2」の更新機として導入したのですが、当社では同機がすでに2台稼動しており、損紙低減システム搭載による大幅な損紙削減、自動操作による準備時間の短縮に実績があり、生産性向上に貢献しております。

この機械の導入により平成20年度から続いた大型設備投資が完了し、これからは効率アップ、付加価値の高い製品の提案で売上増加を目指します。



●B縦半裁オフセット輪転印刷機「SYSTEM 35S」



●社長による起動開始

●「びわ湖環境ビジネスメッセ」「リーディング産業展みえ」「ものづくり岐阜テクノフェア」に出展

平成21年10月21日から23日の3日間にわたり、環境産業総合見本市「びわ湖環境ビジネスメッセ」が滋賀県の長浜ドームにて開催され、当社は前年に引き続き出展いたしました。305の企業・団体によるブースでは環境負荷低減に寄与する新製品や技術、サービスなどの展示が行われ、3日間全体の来場者数は約3万9千人となりました。

当社のブースでは、針金を使わない冊子「ノリクル」をはじめマルチブッキングシステム、ベジタブルインキマーク、アルカリ性の現像液を使用しないケミカルレスのPS版など環境に配慮した製品づくりについての当社での取り組みをまとめたパネル展示を行い、多くの来場者に特徴をアピールいたしました。

その他、11月6日、7日開催の「リーディング産業展みえ」、11月13日、14日開催の「ものづくり岐阜テクノフェア」にも出展し、「ノリクル」やICタグなど当社の技術を紹介いたしました。

※この報告書も、「ノリクル」の一種です。



●びわ湖環境ビジネスメッセ



●リーディング産業展みえ



●ものづくり岐阜テクノフェア

●ミヤコシMCC13B圧着はがき生産機導入

平成21年11月、本社工場にミヤコシ社製の圧着はがき生産機「MCC13B」を導入いたしました。この機械は、ロール紙、折り出し紙に対応できる先糊・後糊両方式の圧着機です。2つ折り（V折圧着）、3つ折り（Z折圧着、巻折圧着）が15,000枚／時でき、また油圧による圧着方式により、圧着の強度を調節できる特徴があります。

この機械の導入により、宛名印字から圧着、出荷までトータルで管理ができるようになり、今後の受注に対応できるようになりました。



●圧着はがき生産機「MCC13B」

●シトマ社封入封緘機導入

平成22年3月、本社工場のIPSルーム※にシトマ社製の封入封緘機「SM-15」を導入いたしました。現在、定型封筒用の封入封緘機は稼動していますが、今回導入した封入封緘機は、定型封筒から角2封筒（A4判の用紙が入る大きさ）までの封入封緘が可能です。また、1枚物から厚さ10mmまでの印刷物が封入でき、封入封緘スピードは長3封筒（A4判の用紙3つ折りが入る大きさ）で15,000通／時、角2封筒で7,500通／時と高速での封入ができます。

この機械の導入で新たな提案ができる体制が整ったことにより、さらなる受注拡大に努めていきます。

※Information Processing Serviceの略
セキュリティ性の高い印刷物（企業や個人の機密情報）をデータ加工から印刷、封入、発送まで一貫して受注するための専用ルーム



●封入封緘機「SM-15」

●「ジャパンカラー標準印刷認証」の第1期「認定取得工場」にサンメッセ本社工場が認定

平成22年3月、日本印刷学会が制定したオフセット枚葉印刷における標準印刷色「枚葉印刷用ジャパンカラー2007」をターゲットとした認証制度のうち、ジャパンカラーを基準とした印刷物を安定的に印刷する能力があることを認める「ジャパンカラー標準印刷認証」の第1期「認定取得工場」が発表され、当社本社工場が認定されました。

従来出来上がった印刷物の良し悪しはお客様の目によって決められており、明確な基準がない中で、印刷物は作成されてきました。印刷物の発注者などからの色再現の要求に、印刷会社は修正や刷り直しで対応しているのが実情です。このような状況が生じているのは、印刷物作成に関しての標準的な基準がなく、認定する公の機関がないことが大きな要因となっていました。

そこで、発注者がジャパンカラーで指定したとおりの色が適切に印刷会社で再現されることを一般化する基準を策定するため、ジャパンカラー認証制度が創設されました。

お客様にとっても認証取得した印刷会社に発注することにより、刷色の品質を心配することがなくなり、納期短縮につながるようになります。



●ジャパンカラー標準印刷認証



Report 財務の状況

貸借対照表

(単位／百万円)

科 目	第65期 (平成22年3月31日現在)	第64期 (平成21年3月31日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	5,082	5,502
現金及び預金	919	1,272
受取手形	1,004	949
売掛金	2,521	2,497
有価証券	—	200
たな卸資産	432	460
繰延税金資産	132	167
その他	158	37
貸倒引当金	△ 84	△ 83
固 定 資 産	12,674	12,422
有形固定資産	9,379	9,381
建物	2,345	2,471
機械及び装置	2,896	2,755
土地	3,832	3,840
その他	303	313
無形固定資産	76	68
投資その他の資産	3,218	2,972
投資有価証券	2,249	2,017
繰延税金資産	759	717
その他	451	505
貸倒引当金	△ 241	△ 267
資 産 合 計	17,756	17,925

科 目	第65期 (平成22年3月31日現在)	第64期 (平成21年3月31日現在)
負 債 の 部		
流 動 負 債	5,004	5,127
支払手形	335	376
買掛金	1,408	1,511
短期借入金	2,260	2,120
1年内返済予定の長期借入金	149	50
未払法人税等	16	15
未払費用	407	391
賞与引当金	188	274
その他	239	389
固 定 負 債	2,531	2,402
長期借入金	87	100
退職給付引当金	2,022	1,926
役員退職慰労引当金	272	269
その他	148	107
負 債 合 計	7,535	7,530
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	9,979	10,198
資本金	1,236	1,236
資本剰余金	1,049	1,049
利益剰余金	8,098	8,317
自己株式	△ 405	△ 405
評価・換算差額等	241	196
純 資 産 合 計	10,220	10,394
負債・純資産合計	17,756	17,925

損益計算書

(単位／百万円)

科 目	第65期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	第64期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売 上 高	13,222	14,512
売 上 原 価	11,111	11,957
売 上 総 利 益	2,110	2,554
販売費及び一般管理費	2,326	2,660
営 業 利 益	△ 216	△ 105
営 業 外 収 益	171	173
営 業 外 費 用	72	90
経 常 利 益	△ 117	△ 22
特 別 利 益	39	66
特 別 損 失	58	84
税引前当期純利益	△ 136	△ 40
法人税、住民税及び事業税	11	25
法人税等調整額	△ 32	80
当 期 純 利 益	△ 115	△ 146

キャッシュ・フロー計算書

(単位／百万円)

科 目	第65期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	第64期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	772	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,199	△ 633
財務活動によるキャッシュ・フロー	53	△ 116
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	△ 372	220
現金及び現金同等物の期首残高	1,242	1,022
現金及び現金同等物の期末残高	869	1,242

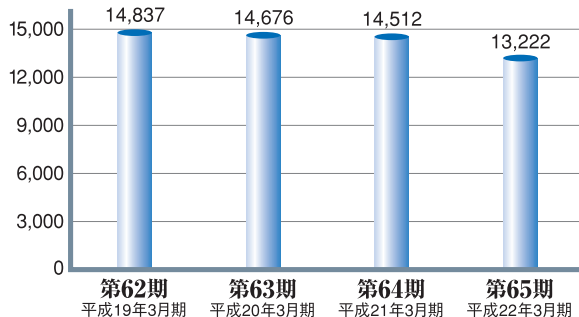
株主資本等変動計算書

(単位／百万円)

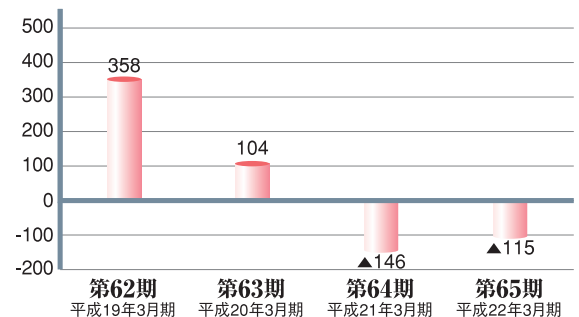
	第65期 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)							第64期 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)						
	株 主 資 本					評価・換算 差額等	純資産 合計	株 主 資 本					評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計		
前 期 末 残 高	1,236	1,049	8,317	△ 405	10,198	196	10,394	1,236	1,049	8,567	△ 405	10,448	507	10,955
事業年度中の変動額														
剰余金の配当			△ 103		△ 103		△ 103			△ 103		△ 103		△ 103
当 期 純 利 益			△ 115		△ 115		△ 115			△ 146		△ 146		△ 146
自己株式の取得				—	—		—				△ 0	△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						45	45						△ 310	△ 310
事業年度中の変動額合計	—	—	△ 218	—	△ 218	45	△ 173	—	—	△ 250	△ 0	△ 250	△ 310	△ 560
当 期 末 残 高	1,236	1,049	8,098	△ 405	9,979	241	10,220	1,236	1,049	8,317	△ 405	10,198	196	10,394

業績の推移

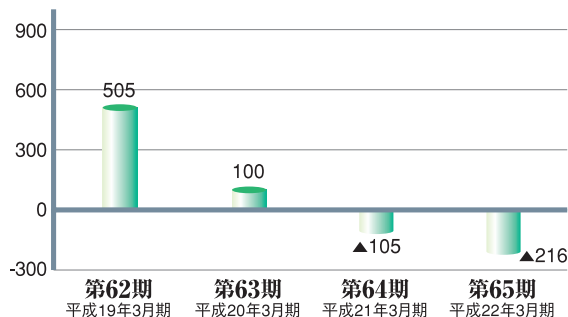
① 売上高 (単位／百万円)



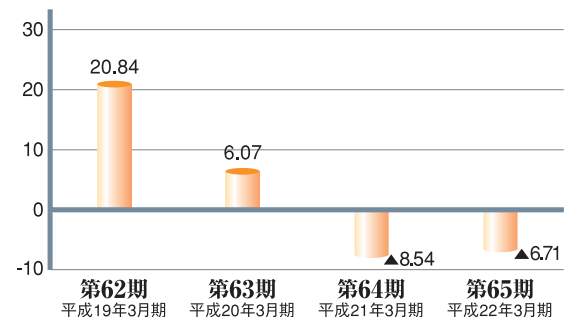
④ 当期純利益 (単位／百万円)



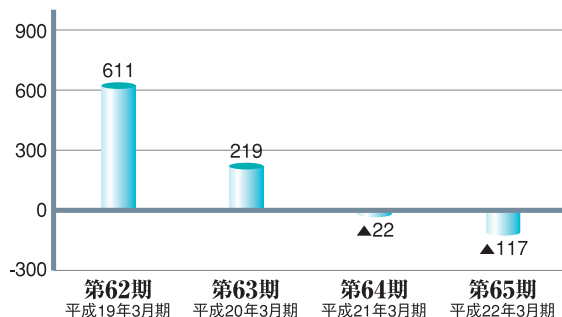
② 営業利益 (単位／百万円)



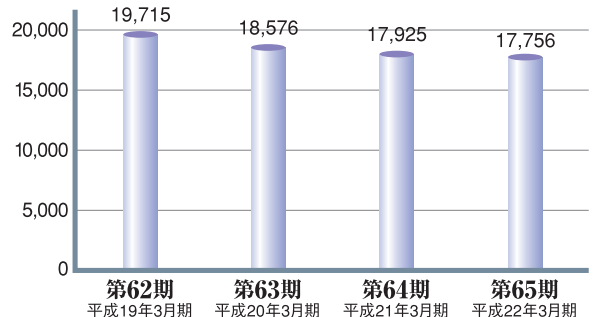
⑤ 1株当たり当期純利益 (単位／円)



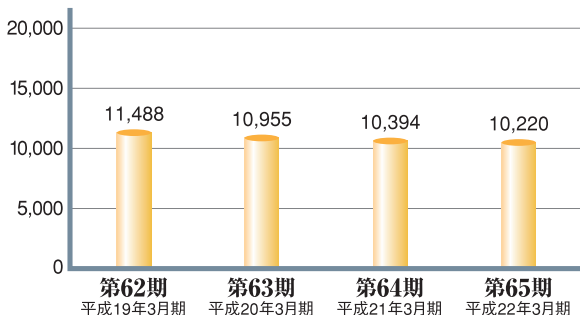
③ 経常利益 (単位／百万円)



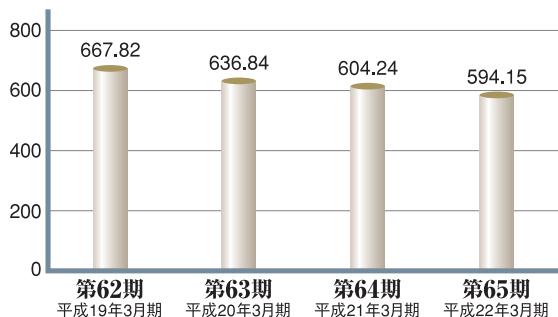
⑥ 総資産 (単位／百万円)



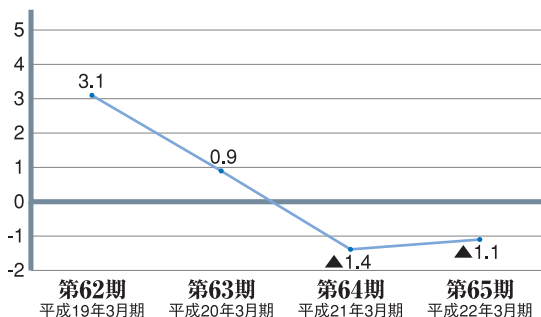
⑦ 純資産 (単位／百万円)



⑧ 1株当たり純資産 (単位／円)



⑨ 自己資本利益率 ROE (単位／%)



用語説明

① 売上高

会社が製品、サービスなどを販売・提供し、得られた営業上の収益。

② 営業利益

会社本来の事業活動から得られた利益で、収益実態を見るうえで最も基本的な数値。売上高から売上原価、販売費、一般管理費を差し引いたもの。

③ 経常利益

営業利益から営業外の損益を加減した利益で、経営成績を最もよく反映する利益として重視される。

④ 当期純利益

税引前当期純利益から法人税等を控除した最終利益。純利益、税引後利益、最終利益とも呼ばれる。

⑤ 1株当たり当期純利益

1株当たりに換算して会社がどれだけ利益を上げたかをみる指標。

⑥ 総資産

貸借対照表の「資産の部」を合計した数値。会社が所有している財産、権利などの価値の総量を企業会計というものさしで計ったもので、企業の大きさを表す一般的な指標。

⑦ 純資産

資産の総額から負債の総額を控除した金額。

⑧ 1株当たり純資産

純資産の1株当たりの持ち分を表す指標。数値が高いほど一般的によりとされる。

⑨ 自己資本利益率

自己資本に対してどれだけの利益を上げているかをみる収益性の指標。この数値が高まれば株価を押し上げる要因となります。

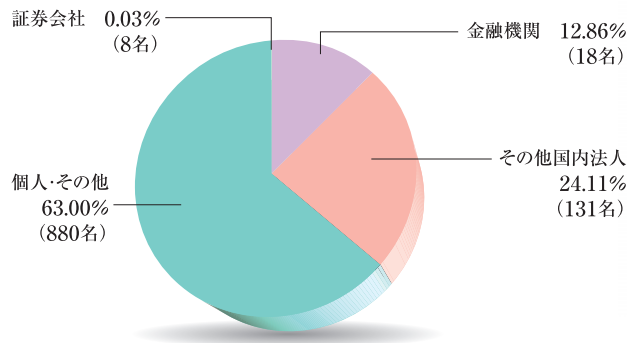


株式の状況（平成22年3月31日現在）

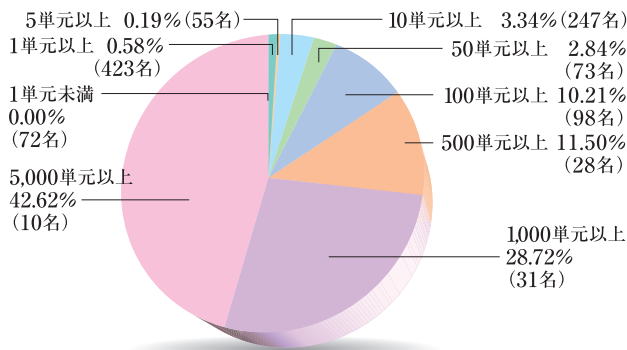
①発行可能株式総数	60,000,000株
②発行済株式の総数	17,825,050株
③株主数	1,037名

株式分布状況

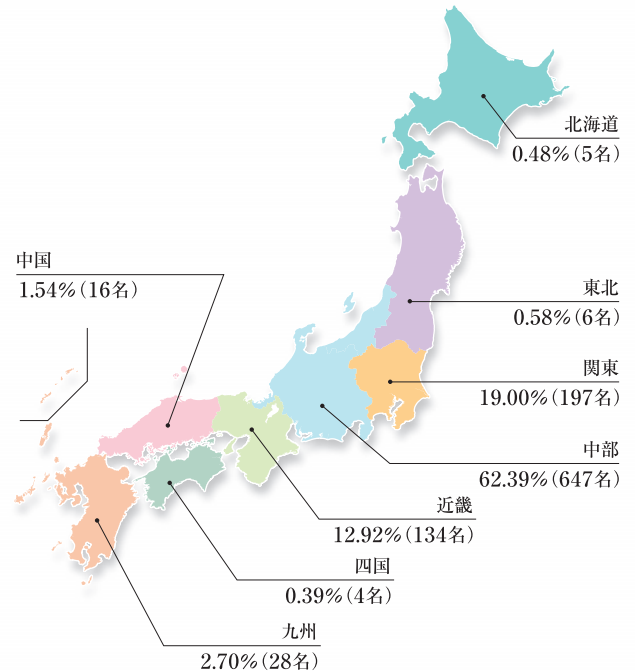
所有者別株式分布状況（株式数比率）



所有数別株式分布状況（株式数比率）

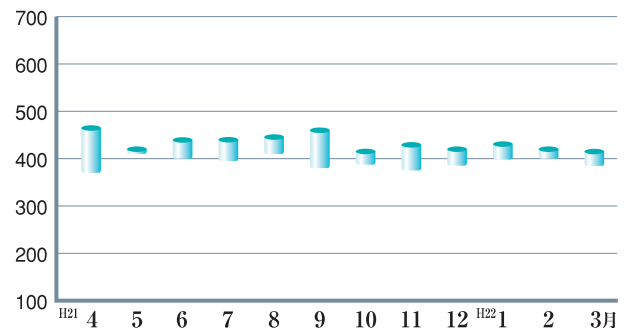


地域別株主数（株主数比率）



（注）比率は小数点以下第三位を四捨五入しております。

株価推移（単位／円）





Report 会社の概況

Revolve

会社概要

商号	サンメッセ株式会社
設立	昭和21年9月20日
資本金	1,236,114千円
従業員数	736名(他社への出向者、嘱託、パートは含まれておりません)

主要な事業内容

一般商業印刷を中心に出版印刷、包装印刷を営む総合印刷会社。得意先の希望する印刷物の企画、デザイン、製版、印刷、製本、トムソン加工、製袋、表面加工等に至る設備を装備した一貫生産。WebサイトやDVDなどのコンテンツ制作、デジタルアーカイブ作成等、マルチメディア製品の企画開発。

役員(平成22年6月25日現在)

取締役会長	*田中良幸	
取締役副会長	*田中勝英	
取締役社長	*田中義一	
取締役	木村伸男	執行役員監査室長
取締役	松井巖	執行役員営業本部長 兼 公共営業部長
取締役	長井芳郎	執行役員営業副本部長 兼 名古屋営業部長
取締役	水谷和則	執行役員営業副本部長 兼 営業開発部長
取締役	田中尚一郎	執行役員営業副本部長 兼 関東統括部長
取締役	今井稔	執行役員購買本部長 兼 購買部長
取締役	竹林啓路	執行役員製造本部長
常勤監査役	長屋英機	
監査役	吉野銃城	
監査役	藤塚清治	税理士
監査役	加藤文夫	税理士
監査役	伊藤曉	

※は、代表取締役であります。

本社および事業所(平成22年6月25日現在)

本社	岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-1
支店	東京支店(東京都江東区) 大阪支店(大阪市中心区) 名古屋支店(名古屋市中区) 岡崎支店(愛知県岡崎市) 愛岐支店(愛知県一宮市) 岐阜支店(岐阜県岐阜市) 三重支店(三重県桑名市) 滋賀支店(滋賀県彦根市)
営業所	赤坂営業所(東京都港区) 京都営業所(京都市中京区)
研究所	サンメッセ情報館(岐阜県大垣市)
工場	本社工場(大垣市)・中工場(大垣市)・西工場(大垣市)
系列会社	日本イベント企画株式会社(岐阜県岐阜市)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
定時株主総会基準日	毎年3月31日(議決権行使株主確定日)
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 *公告掲載のホームページアドレス http://www.sunmesse.co.jp/
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店及び全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

(お知らせ)

■株式に関する住所変更等のご照会及びお届出について

株式に関するお手続(住所、姓名などの変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株式の買取請求など)のご照会及びお届出につきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、上記の中央三井信託銀行にお問い合わせ下さい。

■配当金のお受け取り方法について

株券電子化により、従来の配当金領収証による受領方式及び配当金振込口座指定方式に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で保有しているすべての銘柄の配当金のお受け取りや証券会社の口座でもお受け取りが可能となりました。お手続きにつきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、上記の中央三井信託銀行にお問い合わせ下さい。

■未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である上記の中央三井信託銀行にお問い合わせ下さい。

revolve (回帰する)

当社は、平成22年度の会社方針を「原点回帰の年」としております。

●ホームページのご案内

サンメッセのホームページでは、企業情報などに関する詳しい情報をご提供いただけます。IR情報（投資家様向け情報）にも、ダイレクトでアクセスできますので、こちららどうぞご利用下さい。

サンメッセ・ホームページアドレス
<http://www.sunmesse.co.jp/>

トップページ

<http://www.sunmesse.co.jp/>



IR情報サイト

<http://www.sunmesse.co.jp/ir/index.html>



人・物・情報を集積・発信 印刷を核に、情報社会に貢献します

サンメッセ株式会社



JQA-EM1779
本社・本社工場
中工場・西工場



JQA-QM3742
本社工場
中工場・西工場



19000127(04)
JSQ15001:2006準拠



Cert no. SCS-COC-003773
www.fsc.org
© 1996 Forest Stewardship Council



環境にやさしい大豆油
インキを使用しています。



環境にやさしい水なし平版
印刷を採用しています。